

企 画 部 地 域 政 策 課

1 中心市街地活性化関係

(1) 中心市街地活性化基本計画関係

ア 中心市街地活性化基本計画の推進

「米子市中心市街地活性化基本計画」の推進について、下表のとおり会議を開催し検討を行った。

会 議 の 名 称	開催回数 (回)
米子市中心市街地活性化推進本部会議	2
米子市中心市街地活性化基本計画推進委員会	0

イ 米子市中心市街地活性化基本計画の変更

検討中の事業の計画がまとまったことによる事業の追加、事業名の変更及び事業規模の変更、並びに計画期間内での事業実施が見込めなくなったことによる事業の削除が生じたため、基本計画の変更を行い、国への申請を行った。

(ア) 第8回変更の申請 平成25年7月25日付け認定

(イ) 第9回変更の申請 平成26年3月28日付け認定

ウ 都市再生整備計画の変更

事業規模の見直し及び計画期間内での事業実施が見込めなくなったため、都市再生整備計画を変更し、国へ提出した。

(ア) 第5回変更の届出 平成25年10月15日付け提出

(2) 中心市街地活性化協議会への職員派遣

ア 中心市街地活性化協議会への職員派遣

平成19年12月21日に設立された中心市街地活性化協議会事務局に、引き続き市職員1名を派遣し、官民一体となって計画推進を図れる体制とした。

イ 中心市街地活性化協議会負担金

中心市街地活性化協議会の活動を支持するため、事務局経費の一部を負担した。

中心市街地活性化協議会事務局運営費負担金 2,639,215円

(3) 中心市街地活性化事業の推進

ア 中心市街地総合情報発信事業

中心市街地に関する様々な情報を広くインターネット等を通じて発信し、来街の動機付け及び生活利便性の向上を図ることにより、まちなかの活性化を推進した。

よなご・かえる通信ホームページの開設、かえる通信の発行(1回)

イ まちなかすまいるデータバンク

まちなか居住の推進を目的に、中心市街地の中古住宅等の空き家情報の発信を行った。

ウ 中心市街地活性化情報発信事業

(ア) まちなかを巡るモニターツアー事業

中心市街地の魅力を発信してもらうため、情報発信力の強い地域のブロガーを招いて、春、夏、秋にモニターツアーを開催した。

春 平成25年4月5日開催 モニター8名 記事27本

夏 平成25年8月3日開催 モニター6名 記事17本

秋 平成25年11月17日開催 モニター4名 記事27本

(イ) まちなかなう事業

本市のホームページに「よなご まちなかなう ～まちなか特派員報告～」のコンテンツを作成し、個人ブログで本市の中心市街地等に関する記事を発信している方を、「まちなか特派員」として10名を任命し、本市のホームページから各特派員のブログにリンクを張り、特派員自らのブログを通じて中心市街地エリアの見どころ、まちなかの楽しさやにぎわいの様子などの発信に取り組んだ。

平成25年4月1日～平成26年3月31日 記事447本

エ まちの案内看板設置事業

市民や来訪者にまちをわかり易く案内するとともに、まちの文化や歴史に触れ易い環境の整備を行い、中心市街地を訪れた人たちがスムーズに安心して移動できるようにするために、案内板を設置した。

業務名	概要	金額(円)
まちの案内看板設置工事	案内板 7箇所	5,032,650
まちの案内看板表示シート作成等業務	表紙シート作成	499,800

2 基地対策関係

(1) 美保基地周辺環境整備の調整及び促進を行った。

(2) 米子飛行場周辺地域振興協議会の開催

総会 平成25年8月23日

3 米子空港滑走路延長(2,500メートル化)関係

米子空港滑走路延長事業に関する地元との調整は8月23日の地元協議会において、取組み状況と地域振興計画の進捗状況等について、説明と報告を行いました。

4 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

日ノ丸自動車株式会社

区分			路線数	補助額(単位;円)	
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対策路線	広域幹線路線	6	29,729,691
			広域路線	6	21,331,780
		単市補助対象路線(市内完結路線)	9	25,743,634	
合計			21	76,805,105	

日本交通株式会社

区分			路線数	補助額(単位;円)	
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対策路線	広域幹線路線	2	5,336,427
			広域路線	4	15,138,365
		単市補助対象路線(市内完結路線)	6	13,155,865	
合計			12	33,630,657	

(2) 米子市循環バス（愛称「だんだんバス」）運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ル ー ト	市内中心部（米子駅→大学病院→ホープタウン前→天満屋前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅）での一方向周りの循環運行
運行回数	平日21便、土・日、祝日19便（始発8時～終発18時：30分間隔）
使用車両	市所有のノンステップバス（34人乗り）2台
停 留 所	32箇所（市が設置）
料 金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
回 数 券	150円券11枚綴り 1500円 100円券11枚綴り 1000円 50円券11枚綴り 500円
運行方法	市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運賃経費から運行収入を控除した、いわゆる赤字額（25年度；12,840,424円）を市が補填した。
利用者数	総乗車人員124,084人 一日平均340.9人、一便平均16.8人（幼児を含む）

(3) 米子市淀江町巡回バス（愛称「どんぐりコロコロ」）運行

路線バスの廃止代替として、淀江駅または米子東病院を発着し、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。

ル ー ト	便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、イオン日吉津店等を巡回（1便あたりの所要時間 15分～55分）
運行回数	平日・土曜10便、日、祝日運休（始発8時5分～終発15時54分）
使用車両	バス事業者所有のワンステップバス（35人乗り）1台
停 留 所	52箇所（市が設置）
料 金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
回 数 券	150円券11枚綴り 1500円 100円券11枚綴り 1000円 50円券11枚綴り 500円
運行方法	市がバス事業者に運行を委託し、運行経費から運賃収入を控除したいわゆる赤字額（25年度；8,832,830円）を委託料として支払った。
利用者数	総乗車人員10,620人、 一日平均35.9人、一便平均3.6人（幼児を含む）

(4) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

構 成	学歴経験者2名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、住民又は利用者の代表6名、運転手を組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、市職員1名 計15名
開 催 日	第1回 平成25年8月27日 第2回 平成26年2月10日

5 鉄道関係

- (1) 山陰本線、福知山線の複線電化等について「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」を通じて要望活動を行った。
- (2) 平成25年6月5日に設立された、山陰を縦貫し北陸及び近畿を結ぶ超高速鉄道の建設着手推進を目的とする「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」に参画した。
- (3) JR利用に関わる諸問題について、JR西日本米子支社との調整を行った。
- (4) JR淀江駅前公衆便所の維持管理

6 航空路線関係

- (1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市との共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、JR境港米子空港駅待合所の維持管理を行った。
- (2) 平成25年10月1日から平成26年3月31日の間、米子ー東京線が1日6往復12便化となった。
- (3) 平成25年12月20日から成田線（2往復4便）、神戸線（2往復4便）、茨城線（神戸経由1往復2便）が就航した。
- (4) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動を行った。

ア 国際チャーター便

平成25年7月16日～8月31日 香港航空によるプログラムチャーター便の就航

平成25年7月、フンヌ・エアによるチャーター便の就航

平成26年1月、2月 遠東航空によるチャーター便の就航

イ 国内チャーター便

実績なし

ウ キャンペーン活動

「空の日」の記念行事として行われる「米子空港まつり」を平成25年9月28日に関係団体とともに開催するなど各種キャンペーン活動を実施した。

エ 旅行会社と連携した各種旅行商品の造成及びPR

鳥取県と連携し、東京便及び新規路線旅行商品造成及び閑散期対策を実施した。

- (5) 平成25年度の米子空港利用者数は、国内線が60.7万人、国際線が3.1万人、合計63.9万人であった。

7 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。

8 水源対策関係

- (1) 賀祥ダム建設工事に係る水道局企業会計の負担に対し、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金 55,586,164円

イ 水道事業補助金 7,311,985円

- (2) 旧淀江町簡易水道事業に係る水道事業債償還金の一部について、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金 3,885,372円

イ 水道事業補助金 1,554,314円

9 高等教育機関連携事業

(1) 高等教育機関の充実発展への支援

米子工業高等専門学校発展と産学連携強化を目的に、様々な事業を実施している米子工業高等専門学校振興協会の活動に対し、引き続き協力を行った。

平成25年度振興協会活動内容

- ア 講演会・技術交流会（平成25年11月12日）
- イ 産官学連携推進のための調査研究支援
- ウ 共同研究支援

(2) 高等教育機関との連携強化

鳥取大学と県内四市連絡協議会とおし、鳥取大学との連携を図るとともに鳥取大学医学部と附属病院の駐車場、医学部教育用グラウンドについて引き続き協議を行い、駐車場は平成25年7月17日に湊山公園内の用地を無償提供し鳥取大学が整備を終えた。

平成25年5月に鳥取大学が「地（知）の拠点整備事業」について申請する際に連携自治体となり副申請書を交付した。

10 交通バリアフリー推進協議会関係

「米子市交通バリアフリー基本構想」（平成21年2月策定）で定めた各種事業の推進状況を評価、検討を目的とした「米子市交通バリアフリー推進協議会」を2回開催した。

開催日：平成25年11月11日、平成26年2月24日